

## 時間給1400円以上へ 最低賃金署名スタート学習会開催



4月17日、最低賃金署名スタート学習会を開催し、50名が参加しました。

学習会は、筒井晴彦さん（労働総合研究所会員）を講師に、「世界の最賃はどうなるの？」のテーマで、世界の最低賃金の役割について学びました。アメリカ・フランス・アジアでは、この間、最低賃金の大幅引き上げを実現し、購買力・生産性を高めビジネスにも利益を与えています。

また、全国一律最低賃金制が主流であることも含め、日本の最低賃金の貧弱さが明らかとなりました。学習会後は、大阪地方最低賃金審議会委員立候補者の決意表明を行い、行動提起でこれから本番となる最賃闘争では、宣伝・署名活動など最低賃金引き上げに向け取り組みを広げていくことを確認しました。

### 憲法違反の賃下げをただちにやめろ！官・民の賃上げで景気回復を！



4月17日、大阪国公などが南森町で「安心・安全の公務サービス拡充」と「国家公務員の意見賃下げ訴訟支援」の宣伝行動がとりくみました。違憲訴訟原告の仲間がマイクを握り「国家公務員には憲法に定められた労働基本権が制約されており、その代償措置として人事院があり、毎年勧告を出している。その人事院勧告を無視をして勝手に賃金を下げることは憲法違反として裁判でたたかっています。

また、国家公務員の賃下げは地公、医療、福祉の労働者への影響も大きい。憲法違反の賃下げをただちに止めろ」と訴えました。大阪労連からも「株価が上がっていると言われていますが、みなさんの生活はどうでしょう？物価だけが上がっても、賃金が上がらなければデフレは克服できません。安倍首相が財界に『賃上げ』を頼みに行くなら、まず、国家公務員賃金を元に返すことが筋ではないか。13春闘で日本の経済を立て直すために、民間も、公務も賃金の引き上げを求めていきましょう。」と語りました。最後に、全学生の仲間から「社保庁の不当な分限免職とたたかっている大島さんの分限免職取消の判定がみなさんの支援の中で出されたが、全国でたたかいは続いています。引き続きご支援をお願いします」と呼びかけました。

変えよう職場・地域と政治、勝ちとろう賃金・雇用・くらしの改善